

みんなの暮らしを守る森林づくり

実効性のある森林計画制度の確立
 地域森林計画樹立事業

適切な主伐・更新施策の促進
 第67回全国植樹祭推進事業
 信州の森林づくり事業

計画的な間伐の推進
 造林事業（公共・県単）
 信州の森林づくり事業
 豊かな水を育む森林づくり事業
 みんなで支える里山集約化事業
 地域で進める里山集約化事業
 水源地林公有林化支援事業
 水源地林公有林化支援事業
 みんなで支える森林づくり推進事業
 災害に強い森林づくりの推進
 松林健全化推進事業
 治山事業（公共・県単）
 山地災害の危険度情報整備事業

地域防災力の向上

豊かな自然環境の保全

木を活かした力強い産業づくり

林業経営団地の設定及び林内路網整備等の推進
 林道事業（公共・県単）
 信州の森林づくり事業

担い手対策の推進
 森林整備地域活動支援事業
 高性能林業機械導入推進事業
 林業就業支援事業
 林業労働力対策事業
 信州フオレストコンクワター育成事業
 信州大学校費

県産材の生産加工流通体制整備の推進
 [信州F・POWERプロジェクトの推進]
 長野・オーストリア林業技術交流事業

様々な用途での県産材需要の拡大
 信州の木活用モデル地域支援事業
 県産材供給体制整備事業
 県産材エネルギー総合推進事業
 県産材振興対策事業
 木造公共施設整備事業

森林を活かす力強い林業・木材産業づくり

森林を支える豊かな地域づくり

地域特性に応じた森林経営・森林資源の活用・交流促進
 「信州山のEJ」推進事業
 信州フオレストコンクワター育成事業
 里山活用推進リーダー育成事業
 森林（もり）の里親促進事業
 全国一の森林セラピー県推進事業
 本音推進事業
 第67回全国植樹祭推進事業
 第45回全国林業後継者大会推進事業
 信州ジビエ活用推進事業
 特用林産産地振興総合対策事業
 原木栽培きのご等安定供給推進事業

野生鳥獣被害対策の推進
 野生鳥獣総合管理対策事業
 野生鳥獣捕獲・管理事業
 指定管理鳥獣（ニホンジカ）捕獲事業
 鳥獣被害対策実施隊強化事業
 野生鳥獣保護管理体制整備事業
 狩猟のスペシャリスト養成事業

低炭素で循環型の地域社会づくり

魅力ある地域の創造と発信

豊かな自然環境の保全

「あわせ信州創造プラン」長野県総合5か年計画【2013】「確かな暮らしが営まれる美しい信州」

長野県は心ぞいの森林づくり条例 長野県森林づくり指針

地方創生、人口定着・確かな暮らしの実現

（新）：新規事業 （一部新）：一部新規（拡充・見直し）事業
 （税）：森林づくり県民税活用事業 （調）：自然エネルギー地域基金活用事業

平成27年度 当初予算総括表

林務部

1 一般会計

区分	平成27年度 当初予算額 A	平成26年度 当初予算額 B	前年度比 A/B	【単位:金額(千円),比率(%)]	
				27当初 +26年度2月補正	26当初 +25年度2月補正
一般行政費	6,219,241	8,850,406	70.3	7,132,994	9,727,406
補助費					
林道	1,120,464	1,094,933	102.3	1,133,112	1,214,341
治山	5,915,969	5,377,239	110.0	6,419,969	5,977,766
造林	3,788,878	2,956,207	128.2	4,001,278	3,438,207
小計	10,825,311	9,428,379	114.8	11,554,359	10,630,314
単独費	10,260	10,260	100.0	10,260	10,260
治山	277,982	277,592	100.1	277,982	277,592
造林	173,354	234,374	74.0	173,354	234,374
小計	461,596	522,226	88.4	461,596	522,226
災害復旧費	221,921	237,721	93.4	221,921	237,721
治山	66,667	72,763	91.6	66,667	72,763
小計	288,588	310,484	92.9	288,588	310,484
直轄治山事業負担金	431,000	418,300	103.0	431,000	433,967
合計	18,225,736	19,529,795	93.3	19,868,537	21,624,397

(注) 公共事業費、県単事業費、災害復旧費には、人件費を含む。

2 一般会計課別内訳(再掲)

区分	平成27年度 当初予算額 A	平成26年度 当初予算額 B	前年度比 A/B	【単位:金額(千円),比率(%)]	
				27当初 +26年度2月補正	26当初 +25年度2月補正
森林政策課	3,090,030	3,103,548	99.6	3,104,330	3,980,548
信州の木活用課	2,418,922	5,436,349	44.5	3,306,106	5,555,757
森林づくり推進課	12,716,784	10,989,898	115.7	13,458,101	12,088,092
計	18,225,736	19,529,795	93.3	19,868,537	21,624,397

3 特別会計

区分	平成27年度 当初予算額 A	平成26年度 当初予算額 B	前年度比 A/B	【単位:金額(千円),比率(%)]	
				27当初 +26年度2月補正	26当初 +25年度2月補正
県営林経営費特別会計	333,358	468,611	71.1	373,358	468,611
林業改善資金特別会計	155,954	106,324	146.7	155,954	106,324
計	489,312	574,935	85.1	529,312	574,935

平成 27 年度 林務部主要施策の概要について

～森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らしの実現を目指して～

平成 27 年度は、昨年相次いで発生した災害の教訓を活かして、防災・減災対策を積極的に推進するほか、人口定着と確かな暮らしの実現に向けて、「森林県」から「林業県」に飛躍するための取組や当県の豊かな森林資源を活かした森林産業の創造を着実に進めます。また、全国植樹祭の開催準備や「信州 山の日の取組等を通じて当県の森林の魅力を活発的に発信し、みんなで支えるふるさと森林づくりを進めます。

① 防災・減災対策等の推進による安全で安心して暮らせる森林づくり

- 森林整備と治山施設整備を一体的に行う「災害に強い森林づくり」の推進
- 航空レーザー測量等による山地災害の事前防災対策の推進
- 県民生活を守る間伐を中心とした森林整備の促進
- 松くい虫による被害の拡大防止
- ニホンジカの集中的な捕獲の推進

② 人口定着・確かな暮らしの実現に向けた「森林県」から「林業県」への飛躍

- 信州 F・POWER プロジェクトの着実な推進
- サブライネーションセンターを中心とした原木安定供給の促進
- 新たな木材需要の創出による素材生産活動の活性化
- 木材の安定供給のための基盤（団地化、路網、機械）づくりの推進
- 持続可能な林業生産活動に対応する担い手確保・育成、地域林業を指揮する人材育成
- 林業大学の実践的な林業後継者等育成、林業総合センターの林業士や林業技術者育成
- 適切な主伐と更新施業の促進を図るため、更新伐の促進・採種圃の整備や技術的知見の蓄積を推進
- 品質の確かな県産材製品の加工流通体制の整備と様々な用途への県産材製品需要の拡大
- 林業立国オーストリアとの技術交流等による高収益・自立型林業構造の確立

③ 山村に新たな収入源を創出

- 森林の癒し機能等を観光や医療、教育分野等他産業と結びつけた森林セラピー等の新たな森林産業の創出
- 山村地域の貴重な収入源である、きのこ、山菜、薪など特産林産物の振興
- 豊富な里山資源の活用を地域が主体的に行うリーダーの育成
- 信州ジビエのブランド化や需要拡大
- 高度な捕獲技術と野生鳥獣の専門的な知識を持った狩猟のスペシャリストの育成

④ 信州の森林の魅力を全国に発信

- 全国植樹祭や全国林業後継者大会の開催準備を通じた信州の森林の魅力発信
- 「信州 山の日の定着・浸透と「山」に関わる様々な取り組みによる信州の山の魅力発信
- 「森林（もり）の里親」による、山村と都市、森林整備に協力する企業等と地域との交流の促進

「災害に強い森林づくり」による防災・減災の取組

森林づくり推進課

「災害に強い森林づくり指針」(H20.1月林務部作成)

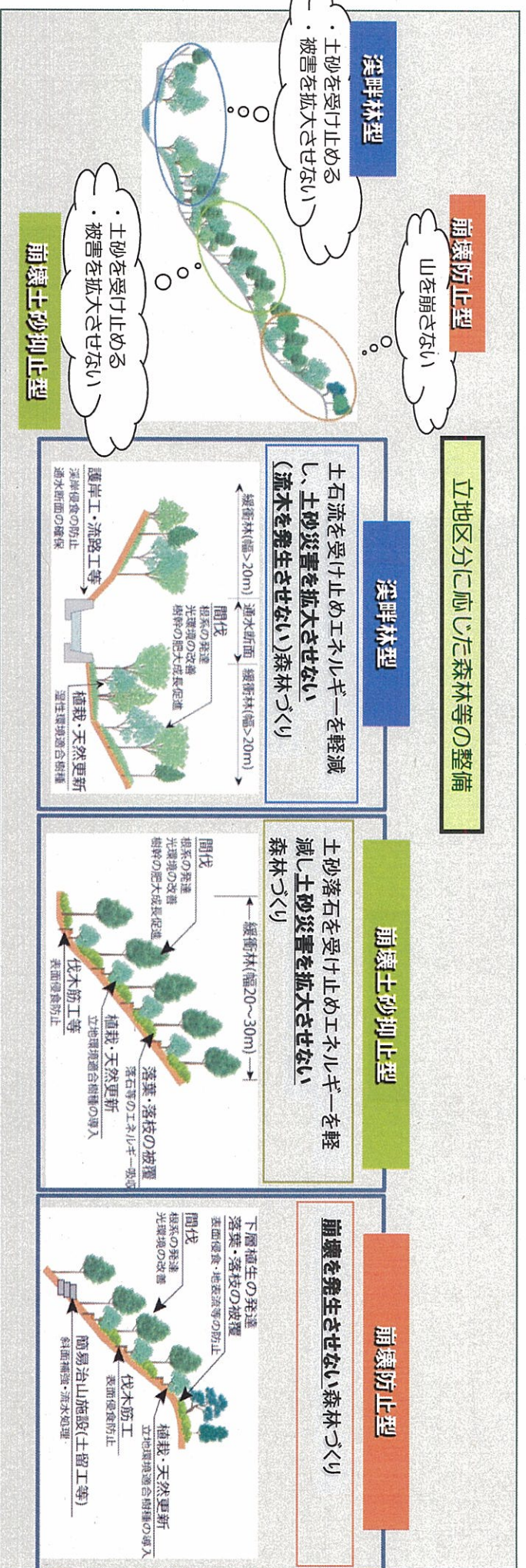
課題1

- 近年、集中豪雨の増加に伴い土石流等の山地災害が多発
- 特に平成18年7月の岡谷市における豪雨災害では、土石流により8名死亡等激甚な被害が発生



間伐されていない立木は、根系の発達が悪いため崩れやすく、土石流の発生源となり、さらに流下する土砂に巻き込まれ、被害を拡大させることが多い

山腹崩壊、土石流を発生しにくくし、発生しても被害を軽減できるような森林づくりを行うため、「**災害に強い森林づくり指針**」を平成20年1月に作成



航空レーザー測量データによる山地災害危険箇所の抽出

～最新技術を活用した取組～

課題2

- 脆弱な地質、急峻な地形が多く存在する本県においては、山地災害の危険箇所を把握することが困難
- 治山事業関連予算にも限りがあるため、効率的な事業対象箇所の選定が求められる

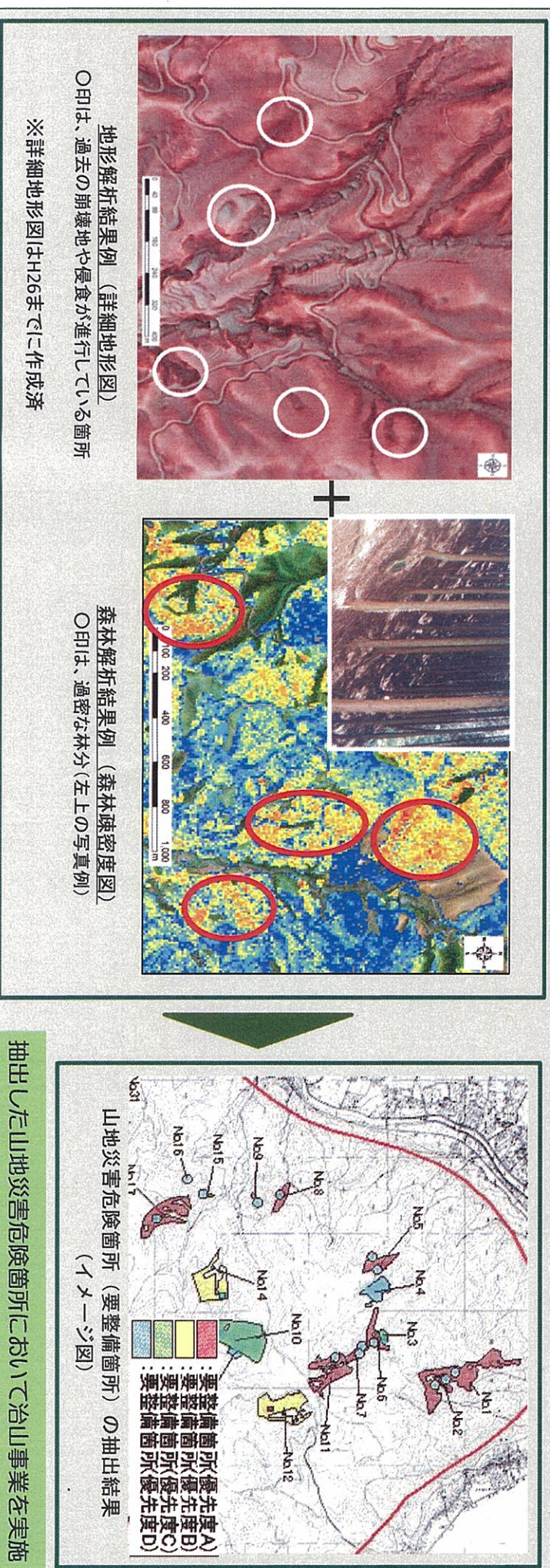


○平成24年度補正予算事業等により、県下民有林全域で航空レーザー測量を実施 (H25~H26)
 ○地形解析により詳細地形図を作成 (H25~H26)、豪雨や地震による山地災害発生箇所の復旧や二次災害の防止対策に活用している

○航空レーザー測量データにより把握した詳細な地形に加え、森林の疎密度等の情報を合わせて解析することで、**山地災害の危険箇所を抽出する(H27~H28)**

○取得した航空レーザー測量データは、治山事業や砂防事業等の防災事業のほか造林や路網整備等の計画にも活用可能

山地災害の危険度情報整備事業:危険箇所の抽出と治山事業計画への活用【H27~H28】
 予算額 H27 150,000千円 (公共治山事業のうち予防治山事業委託費:国庫補助率1/2)
 H28 150,000千円 ()



信州・POWERプロジェクトについて

県産材利用推進室

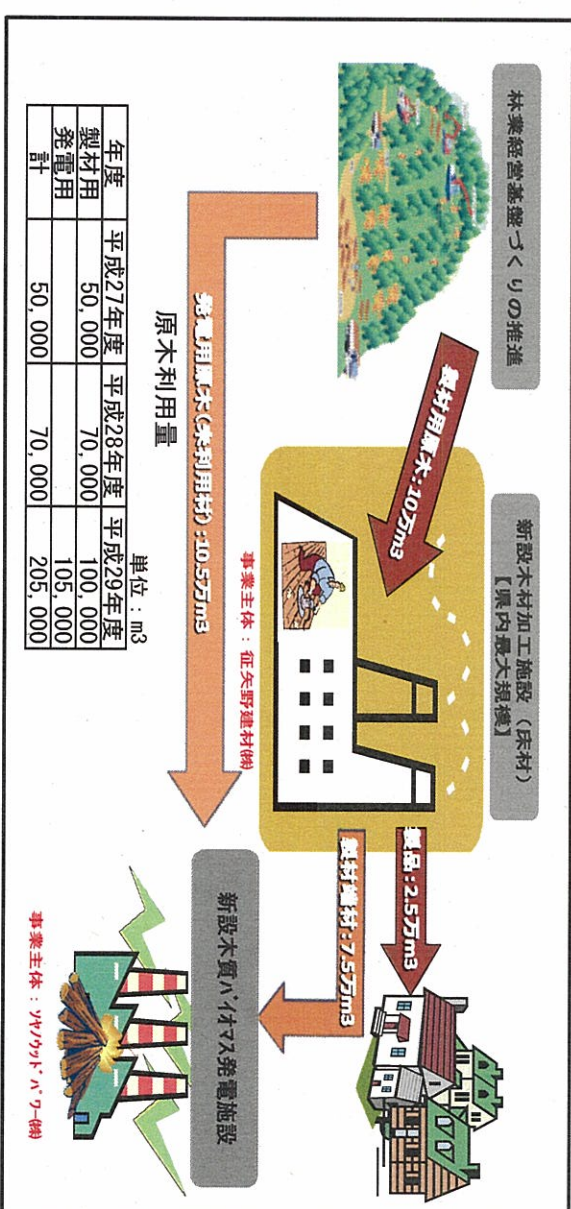
1 取組の目的

- 成熟しつつある森林資源を有効に活用することにより、利益を山側に還元することで林業の再生と木材産業の振興を図る。
- 木質バイオマス発電施設の整備と発電施設から発生する熱の利用を通して、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与する。

2 全体スケジュール

項目・年度	H25	H26	H27	H28	H29
用地造成					
木材加工施設		施設整備(工場製作含む)		試験稼働後 本格稼働	
木質バイオマス発電施設		資金計画・実施設計	施設整備(工場製作含む)	施設稼働後 本格稼働	施設整備
熱利用施設			施設整備計画作成		
原木の安定供給体制			需給情報の一元管理・低コスト安定供給		
		サテライトセンターの設置			

3 木材の利用量



施設の整備状況 (平成26年12月現在)



第 67 回全国植樹祭に向けた取組について

森林づくり推進課

平成 28 年の全国植樹祭の開催に向け、大会運営、式典行事、植栽会場などを定める基本計画を策定しました。(平成 27 年 2 月 10 日国土緑化推進機構全国植樹祭特別委員会承認)
 平成 27 年度は基本計画の下、実施計画の策定等を進め、多くの県民の皆様が苗木を育てる、ホームステイなどにご参加をいただきながら、開催準備を着実に進めてまいります。

1. 主な県民参加運動

区 分	主な取組団体等	募集期間等
○ 苗木のスクールステイ ドングリの種等から、苗木を育てる取組	小学校から 大学・専門学校	H27 年 6 月末まで 募集期間延長
○ 苗木のホームステイ 幼苗を 1 年間育てる取組	家庭、企業、団体、 自治会等	H27 年 6 月末まで 募集期間延長
○ 木製プランターカーバーの製作 県産材を使用した飾花用の木製プランターカーバーを製作する取組	小中学校 特殊支援学校	H27 年 12 月末まで 募集
○ 飾花の栽培 式典や植樹会場を飾る花を栽培する取組	農業系高等学校	H27 年秋以降 栽培準備
○ 式典用木製品の製作 式典で両陛下がお使いになる「劔」や、「お手播き箱」などの木製品の製作	林業系高等学校 技術専門学校	製作中
○ 植樹祭へのボランティア参加 バスでの添乗案内や、会場での植樹指導や湯茶接待など	大学、シニア大学、 県民等	開催日決定後 募集予定
○ 全国植樹祭への協賛 資金や物品などによる協賛	個人、企業、団体等	H28 年 4 月末まで 募集



苗木のスクールステイ (小学校にて職員による苗木の育て方の事前学習)



八子ヶ峰でのプレイベント (子供たちと森林整備や記念標柱の付替え作業)

2. 第67回全国植樹祭基本計画の概要

開催(植樹)会場

招待者・県民植樹会場
長野市(茶臼山自然植物園)
松本市(アルファ公園)
上田市(自然運動公園)



県民植樹会場
伊那市
岡谷市(予定)
飯山市
小海町
松川町
王滝村
池田町

大会計画(概要)

大会前日

○ レセプション
開催場所：両陛下の宿泊施設内
・400名程度出席予定

- ・ 関連事業：第45回全国林業後継者大会
開催場所：飯山市「飯山文化交流館」
・ 大会規模：約400名

大会当日

一般招待者は各記念植樹会場で式典の前後に植樹を実施 式典行事は全て屋内開催
式典開催場所：長野市「エムウエーゾ」
・ 式典開催規模：約5,000名

時間	区分	プログラム	備考
10:20~ (40分)	プロローグ	プロローグアトラクション ポスター原画作者等への感謝状贈呈 長野県のご紹介と映像	記念切手贈呈
11:00~ (45分)	式典	開会のごとば 三旗掲揚・国歌斉唱 緑化功労者等の表彰 苗木の贈呈 天皇・皇后両陛下のお手植え メインアトラクション 大会宣言 次期開催県へのリレーセレモニー 閉会のごとば	主催者あいさつ 代表者記念植樹 天皇・皇后 両陛下御臨席
11:50~ (30分)	エピローグ	エピローグアトラクション	

新 第45回全国林業後継者大会推進事業

信州の木活用課

1 趣 旨

平成28年の長野県全国植樹祭の関連行事として全国林業後継者大会の開催が決定し、平成26年12月8日に「第45回全国林業後継者大会長野県実行委員会」を設立した。実行委員会を運営し、基本計画の策定や大会テーマの決定、広報啓発等を行い大会の成功に向けて準備を進める。

2 事業主体

第45回全国林業後継者大会長野県実行委員会

3 事業内容

- (1) 実行委員会、幹事会運営
 - ア 基本計画の策定 (大会テーマ、開催内容等決定)
 - イ 実施計画の策定
 - ウ 広報啓発
- (2) 先催県調査

4 予算額

1,087千円 (一般財源)

5 事業目標

平成28年度 大会参加者数 400人

6 事業実施期間

平成27年度～平成28年度

7 全体スケジュール

年度	平成26年度 (開催2年前)	平成27年度 (開催1年前)	平成28年度 (春季)
項目	<p>基本構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆開催理念 ◆開催地 ◆規模等決定 	<p>基本計画 実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大会テーマ決定 ◆開催内容決定 ◆全国植樹祭と連携等の実施計画策定 	<p>第45回全国林業後継者大会開催</p> <p>第67回全国植樹祭開催</p> <p>◆大会記録作成</p>
大会推進組織	<p>準備委員会 H26.12.8 設立</p>	<p>実行委員会</p>	<p>全国植樹祭長野県実行委員会と連携</p>

全国一の森林セラピー県推進事業について

経済対策分子算案 2,081 千円 (国庫2,081 千円) [地方創生交付金活用事業]

繰越明許設定額 2,081 千円

1 目的

県内10箇所の森林セラピー基地を積極的に活用し、名実ともに全国一の森林セラピー県を目指すため、関係機関との連携による健康増進効果の実証実験や森林セラピーガイドの資質の向上を図る。

2 事業概要

事業区分	事業内容	補正予算額 (千円)
森林セラピー推進 実証連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピー推進協議会の発足 ・関係機関の研究成果の活用や連携による森林セラピー体験プログラムの開発 	757
森林セラピー資質 向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーガイドの資質向上のためのフォロアップ研修会の開催 ・統一パンフレット等の作成 	1,324

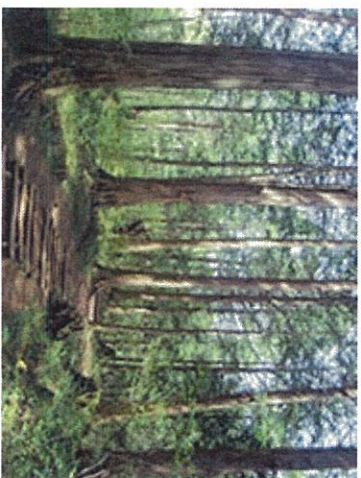
【全体計画】

事業区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
森林セラピー推進 実証連携事業	推進協議会の開催		
	研究成果を活用した現場での実証体験		
森林セラピー資質 向上事業	森林セラピーガイドのフォロアップ研修会等		
	県内拠点の情報交換、統一パンフレット等の作成		

3 事業効果

森林を活用した健康増進方法の確立、健全な森林づくり及び農山村地域の活性化

長野県内のセラピー基地・セラピーロード

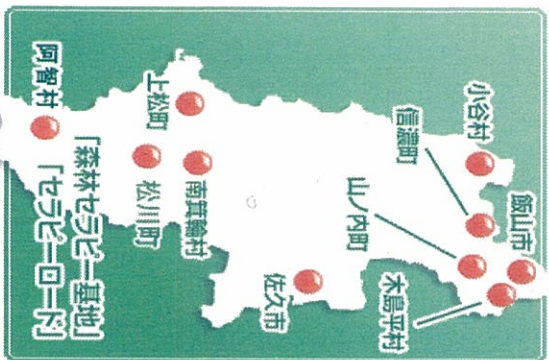


【森林セラピー基地】
～森のゆりかごに抱かれて～

木々と心がふれあう旅 信州木曾上松 赤沢自然林養林
(上松町)

【森林セラピーロード】
～癒しの森～

信州大芝高原みんなの森
(南箕輪村)





「信州 山の日」推進事業

森林政策課

1 趣 旨

「信州 山の日」の趣旨や制定を契機とした取組を県民等に広く周知し、定着・浸透を図るとともに、山に関わる様々な取組への県民等の参加促進を図る。

2 現状と課題

- ・ 制定初年度においては、「信州 山の日」の周知、PRに向けた情報発信に取り組んだが、制定趣旨の理解促進、定着に向けて更なる周知が必要。
- ・ また、「信州 山の日」制定を契機とした、信州の山の魅力向上に向けた取組を一層推進するとともに、その取組を広く情報発信する必要がある。
- ・ 加えて、御嶽山の火山災害や遭難事故等が増加する中「信州の山」を安全に楽しむための取組が重要である。

3 事業主体 県

4 事業内容

区分	事業内容	予算額 (案) (千円)
	ポスター、イベントカレンダー等の作成 ラジオ、新聞によるPR	1,833
普及啓発	(新) 開校！「信州 山の日」学校 (全5回) ・ 山の安全等の講座 (3回) ・ 「信州 山の日」フォーラム (1回) ・ 銀座NAGANOを活用した講座 (1回)	1,009
計		2,842

5 予算額 2,842千円 (一般財源 2,842千円)

6 事業目標及び成果

- ・ 「信州 山の日」中のイベント件数及び参加者数：90件・4万人以上
- ・ 信州の山ポータルサイトのアクセス数：10万アクセス/年

平成27年度「信州山の日」の取組について

～制定2年目：定着と制定を契機とした関連施策の推進～

長野県林務部

平成26年度の取組 ～信州の山 新世紀元年～

- 「信州山の日」の制定と周知
- 「信州の山」の魅力発信
- 山に親しむ活動への参加促進



《具体的内容》

- 全庁を挙げた各種広報ツールを活用した情報発信
- 記念イベント等の開催
 - 「信州山の達人」「オトメ☆の挑戦 信州山ガール」
 - 「信州登山案内人と行く親子登山」「信州の山企画展」等
- 市町村、関係団体との連携による多彩なイベントの開催
- メディアとの連携

【主な成果】

- 県民の「信州山の日」の認知度向上
 - 「信州山の日」の認知度 82%
 - (平成26年度第2回 県政モニターアンケート結果)

■ 山に親しむ機会の創出

4月～8月末まで 266の行事に約12万5千人が参加
 「信州山の日」当日は、県内20か所のイベントに約4千人が参加

- 《長野県「山の日」懇話会参加者、市町村等へのヒヤリング結果》
- 県民等の「山」への関心が高まった
 - 「山」の価値を見直す契機となった
 - 登山チームのタイミンと重なり誘客につながった
 - ◇ 制定趣旨の理解が足りない
 - ◇ 県民(特に民間)への浸透が必要

【主な課題】

- ① 「信州山の日」の定着に向けた更なる周知
- ② 制定を契機とした関連施策の推進(「山」の安全対策等)
- ③ 民間、市町村との連携強化

平成27年度「信州山の日」の取組について

「信州山の日」 平成27年7月26日(7月第4日曜日)
 「信州山の月間」 7月15日～8月14日

《ポイント》

- 「信州の山」を安全に楽しむ環境づくりとそのPR
- 「信州山の日」の定着・浸透と魅力向上に向けた関連施策の推進

五感で感じる山		世界水準の山岳高原観光地		美しく安全な山	
《親しむ》 山に親しみ、学ぶ機会の創出	《伝える》 山の魅力の発信	《活かす》 世界水準の山岳高原観光地の形成	《誘う》 山岳高原への誘客	《保つ》 美しい山岳環境の保全	《守る》 登山の安全対策
○県内外の多くの方に「信州の山」に親しみ・学ぶ機会の創出	○「山」の安全利用の周知 ○「信州山の日」の定着と制定趣旨の周知 ○山岳文化を信州から発信	○雄大な自然など長野県ならではの強みを生かし世界水準の滞在型観光地を目指す	○「山」の魅力を伝え多くの方を「信州の山」に誘客 ○全国一の森林セラピー県を目指す	○山岳環境の保全と適正利用の推進 ○希少な生きものがあふれる豊かな自然環境づくりの推進	○日本最高レベルの火山防災対策や山岳の安全対策の推進
主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ○「信州登山案内人」の登録と活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・信州登山案内人利用促進事業 ○山の安全講座等 <ul style="list-style-type: none"> ●「信州山の日」学校による関連講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「信州山の日」推進事業 ●「信州山の日」PR ●「信州山の日」フオーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「信州山の日」推進事業 ○信州から山岳文化を発信 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳文化創生事業 ○民間、市町村と連携した多彩なイベントの開催 	○重点支援3地域を世界水準に高め県内の誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳高原観光地づくり重点支援事業 	○県内の森林セラピー基地の質の向上と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・全国一の森林セラピー県推進事業 	○登山道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳環境整備パイロット事業 ・民間との協働による山岳環境保全事業 	○山岳環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・人と生きもののパートナーシップ推進事業 ・魅力ある自然公園づくり事業 	○山岳環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳環境整備パイロット事業 ・民間との協働による山岳環境保全事業
○登山道におけるシエルトター等の設置に対する補助制度の創設等 <ul style="list-style-type: none"> ・火山避難施設整備支援事業【新堀】 ・活火山登山者安全啓発設備整備事業 	○登山道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳環境整備パイロット事業 ・民間との協働による山岳環境保全事業 	○県内の森林セラピー基地の質の向上と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・全国一の森林セラピー県推進事業 	○登山道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳環境整備パイロット事業 ・民間との協働による山岳環境保全事業 	○山岳環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・人と生きもののパートナーシップ推進事業 ・魅力ある自然公園づくり事業 	○山岳環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳環境整備パイロット事業 ・民間との協働による山岳環境保全事業

「山の日」の制定を契機とした、信州の山の魅力アップと活用促進